

遠山記念館特別展

中国絵画への 憧憬

ようぶんそう

楊文驄「江山孤亭図」と

江戸時代の文人たち

令和七年

十月四日(土) → 十一月十六日(日)

◆開館時間：午前10時～午後四時30分(入館は四時まで)

◆休館日：月曜日、十月十四日、十一月四日(十月十三日、十一月三日は開館)

◆入館料：大人1,000円(800円)

学生(高校・大学)800円(640円)

※中学生以下は無料(入内は二十名様以上の団体料金)

※障害者手帳をお持ちの方は200円割引となります。

公益財団法人

遠山記念館

〒三五〇-〇二八 埼玉県比企郡川島町白井沼六七五

電話：〇四九-二九七-〇〇〇七 FAX：〇四九-二九七-六九五二

文人の至宝、
埼玉にたどりつく



楊文驄「江山孤亭図」 崇禎16年(1643) 遠山記念館蔵

<https://www.e-kinenkan.com>

特別協力 独立行政法人国立文化財機構
文化財活用センター
NATIONAL CENTER FOR THE PROMOTION OF CULTURAL PROPERTIES

TNM 東京国立博物館
TOKYO NATIONAL MUSEUM

京都国立博物館
KYOTO NATIONAL MUSEUM

助成 令和7年度国立文化財機構所蔵品貸与促進事業
公益財団法人朝日新聞文化財団

楊文驄の作品10点と、その影響を受けた文人の南画



楊文驄「溪亭山色図」
崇禎10年(1637) 京都国立博物館蔵

中国絵画への憧憬 — 楊文驄「江山孤亭図」と江戸時代の文人たち —
明王朝の遺臣として清王朝と最後まで戦った楊文驄(龍友、一五九七〜一六四五)は、日本においては武士道と重ね合わされて受容され、またその生きざまから文人達の敬意を集めることになりました。特に遠山記念館の所蔵する「江山孤亭図」は、名古屋の山本梅逸(一七八三〜一八五六)が家財を売り払って購入し、京都の頼山陽(一七八二〜一八三三)がこの作品を出迎える際に袴を着けたという伝説を持ちます。実際に「江山孤亭図」には山陽の箱書があり、この他にも各時代の文人達による讀の付いた数々の付属品が添っています。「江山孤亭図」は文人達の信仰対象であったとさえ言えるでしょう。本展ではこの「江山孤亭図」をはじめとする日本国内の楊文驄の作品を集めるとともに、それを受容した梅逸、山陽などの作品をならべ、この近世南画史の一面を浮かび上がらせることを試みます。※会期中一部展示替えがあります。

特別講座

楊文驄の亡国と芸術

— その幕末明治への残響 —

10月18日(土) 午後1:30〜午後3:00

講師：宮崎法子(実践女子大学名誉教授)

関東南画の展開とその影響

11月1日(土) 午後1:30〜午後3:00

講師：村田隆志(大阪国際大学教授)

- ◆会場：遠山記念館事務棟大会議室
- ◆参加費：500円(入館料別途)
- ◆定員：各回80名(先着順、Zoom参加可能)

詳しくはホームページをご覧ください

<https://www.e-kinenkan.com>

遠山邸2階特別公開

10月13日(月・祝) 午前11:00〜午後3:00

◆参加費：入館料のみ



楊文驄「林泉清集図冊(部分)」
崇禎11年(1638) 大阪市立美術館蔵



山本梅逸「青緑桃源図」
天保10年(1839) 遠山記念館蔵



重要文化財
岡田半江「春露起鴉図」
天保12年(1841) 遠山記念館蔵



公益財団法人
遠山記念館
TOYAMA MEMORIAL MUSEUM
〒939-0275 富山県比企郡川島町白井沼675
TEL: 049-297-0007
FAX: 049-297-6951
<https://www.e-kinenkan.com>

遠山邸は平成30年に国の重要文化財の指定を受けました。



電車・バスでのご来館の場合

●東武東上線・JR埼京線「川越駅」●西武新宿線「本川越駅」●JR高崎線「桶川駅」。
いずれも「川越駅〜桶川駅」間の東武バスで牛ヶ谷戸下車、徒歩15分。

お車でのご来館の場合

●圏央道「川島IC」より7分。●川越方面から国道254号線の宮元町交差点を川島方面へ右折、釘無橋を渡り最初の信号を左折、案内板に従って約10分。※遠山記念館正面に無料駐車場がございます。